

2020年9月3日  
西日本旅客鉄道株式会社

## 山陽新幹線ラーメン高架橋柱の一部耐震診断誤りに伴う追加工事の実施について

弊社所有の山陽新幹線ラーメン高架橋柱（41,600本）の耐震補強については、2012年5月にせん断破壊先行型の耐震補強が完了（32,500本）したことを公表いたしましたが、曲げ破壊先行型と判断していた柱の一部が耐震診断の誤りにより、耐震補強の優先度が高いせん断破壊先行型の柱であることが判明しました。

弊社といたしましては、2012年以降も継続して様々な構造物に対して、耐震補強工事を進めているところであり、当該高架橋柱に対しても、速やかに耐震補強を実施いたします。

ご迷惑とご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。

- ・追加工事が必要なせん断破壊先行型の柱：69本（14箇所）



鋼板巻立て工法による補強

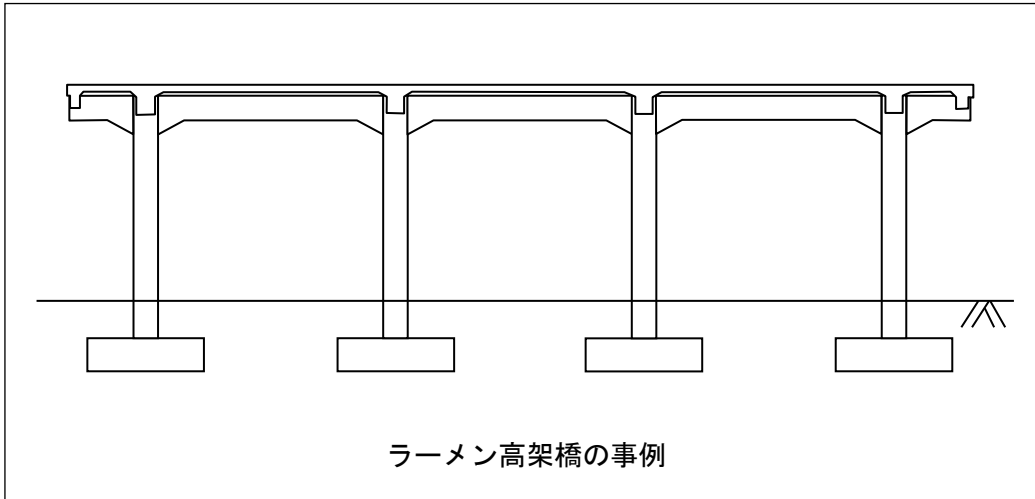


APAT工法による補強

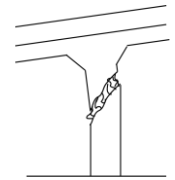
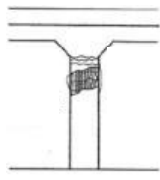
写真 耐震補強の工事例

【参考】

- ・ ラーメン高架橋：高架橋のうち、橋桁と橋脚が一体となった構造のもの



- ・ 高架橋柱の地震時の破壊形式

せん断破壊先行型	曲げ破壊先行型
 <p>柱にねばりがなく、急激に大きく破壊するおそれがある</p>	 <p>柱にねばりがあるが強い地震動で柱の端部付近に損傷が生じるおそれがある</p>